

# ぎかいだより

グリムの森に「お菓子の家」が誕生！



グリム童話「ヘンゼルとグレーテル」に登場するお菓子の家をモチーフにした施設がグリムの森に誕生しました。カフェレストランとして、食事やドリンクを提供します。中はいったいどうなっているのでしょうか？ぜひ、足を運んで確かめてみてください。

**平成30年第1回定例会**

2月22日～3月15日

NO.48

H30年度の注目事業 .....	P 2
H30年度一般会計予算の概要 .....	P 4
常任委員会審査報告 .....	P 8
市政をただす 一般質問 .....	P11

平成30年5月15日発行

発行：栃木県下野市議会

編集：議会だより編集委員会

ホームページ：http://www.city.shimotsuke.lg.jp

E-mail: gikai@city.shimotsuke.lg.jp

しもつけ市議会だよりは市ホームページでもご覧いただけます

下野市 市議会  検索

# 258億6千万円 の注目事業

## 目標ごとの着目事業

昨年に引き続き、第二次総合計画に掲げられた6つの基本目標ごとに分類しました。

2月22日に開会した平成30年第1回定例会では、30年度予算案9件のほか、条例制定案など計49件の議案が提出されました。

会期中、即日議決した案件を除き、多くの議案は各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日の3月15日、表決の結果、すべて原案どおり可決されました。

30年度一般会計予算は258億6千万円が計上されました。新規事業など市議会が特に注目した事業を掲載します。

### 基本目標1 大切な命を育み、健康で笑顔あふれるまちづくり

- 小児インフルエンザ予防接種助成 ————— 1504万8千円  
生後6カ月から小学校6年生までの間で年2回、1回につき2,000円分を助成。
- 新生児聴覚検査助成 ————— 243万円  
聴覚障害の早期発見・早期療育を図るため、すべての新生児を対象に聴覚検査の助成を行う。

### 基本目標2 文化を育み、心豊かな人を育て未来につながるまちづくり

- 大松山運動公園拡張整備事業 ————— 13億3860万1千円  
多目的に利用する陸上競技場の整備、公園緑地機能・防災機能を備えた公園整備を行う。
- 石橋中学校大規模改修事業 ————— 9億273万6千円  
雨漏りやトイレの悪臭、使いづらさを改善し、特殊な構造のアトリウムで生じている鳥の糞害も解消するため、大規模改修工事を行う。そのため、仮設校舎を設置する(完成概算合計予算 約22億円)。
- 南河内中学校大規模改修事業 ————— 2億6019万4千円  
雨漏りやトイレの悪臭、使いづらさを改善し、安全・安心な学校生活を確保するため大規模改修工事を行う。
- しもつけ風土記の丘資料館整備事業 ————— 1億2341万2千円  
重要文化財等資料の保管・展示機能を保持する施設に整備する。



石橋中学校



風土記の丘資料館

### 基本目標3 豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり

- コミュニティFM整備事業 ————— 443万円  
災害など緊急時の情報発信や、地域の話題や行政からのお知らせなどを市民へ発信する。今年度はスタジオの実施設設計など。
- 環境家計簿診断 ————— 7万8千円  
家庭内のCO2排出量を診断して、エコライフを推進。



FMスタジオ予定地(自治医大駅東)



# 一般会計予算総額 平成30年度

## — 第二次総合計画基本

### 基本目標4 地域資源を活かし、産業・地域が躍進するまちづくり

- ユニバーサル農業支援事業 ————— 50万円  
障がい者の農業への就労支援のため、施設の設置・改修費を補助。
- プレミアム付商品券予約販売運営費補助 ————— 111万4千円  
商工会が実施する事前予約のシステム導入や運用を支援。

### 基本目標5 快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり

- JR小金井駅東西自由通路修繕事業 ————— 1億4000万円  
市が管理する東西自由通路は架橋後約47年が経過し、経年劣化が進んでいるため、修繕工事を実施し、利用者の安全確保と利便性の向上を図る。
- 高速道路スマートIC整備事業 ————— 1202万1千円  
スマートICの設置により、農業・観光・医療等の地域資源を最大限に利用し、企業誘致や物流機能の強化による地域経済の活性化、さらには、広域的な災害対応といった様々な整備効果を図る。
- 空き家バンクシステム構築 ————— 27万円  
市ホームページの地図データで空き家情報を見ることができるシステムを構築する。

### 基本目標6 市民が主役の市民と行政が協働するまちづくり

- 地域おこし協力隊事業 ————— 997万3千円  
東京圏において地域おこし協力隊員2名を募集し、意欲ある適切な人材に、本市の地域資源(地域ブランドや地場産品等)を活用した地域活性化事業に従事してもらうとともに、その定住を図る。
- 人事給与システム改修、職員のコンプライアンスを確立するための第三者委員会の設置 ————— 340万2千円  
職員のコンプライアンス(法令遵守)の確立ならびに不祥事の再発防止を図る。

### 地方創生事業 ————— 総事業費5316万9千円

- しもつけ・未来・プロモーション事業 ————— 2263万4千円  
シティプロモーション専用サイト「プチハピしもつけ」の運営管理、YouTube動画作成、ご当地アニメーション「サクラノチカイ」を活用した経済循環と賑わい創出、移住促進セミナー開催など
- 観光プロモーション・イベント開催事業 ————— 778万9千円  
市発着のモニターツアー開催、しもつけBRANDフェア開催など
- 東の飛鳥プロジェクト推進事業 ————— 654万2千円  
本市の歴史的遺産を「東の飛鳥」として全国に発信する。



シティプロモーションサイト  
『プチハピしもつけ』

他に、地域おこし協力隊事業、定住希望者住宅取得支援事業、婚活コミュニケーションカ・スキルアップ講座開催、ツール・ド・とちぎ運営協力事業など

# 平成30年度一般会計予算の概要

## 市長施政方針から

合併時に大きな課題があった財政状況は、行財政改革の推進と合併に伴う有利な財政措置の活用などにより、県内14市中トップクラスとなり、着実に改善してきた。

平成30年度一般会計当初予算は、第二次下野市総合計画に位置付けた「しもつけ重点プロジェクト」の取り組みを加速させ、「下野市まち・ひと・

しごと創生総合戦略」に掲げた施策・事業を積極的に展開し、本市の地方創生を深化させることを基本方針とした。

昨年を引き続き、「**地方創生実行予算**」として編成した。

その結果、予算規模は総額258億6千万円、平成29年度当初予算総額と比較して9.3%の増となり、新庁舎建設費を計上した平成27年度

を除き、過去最大となる積極型予算となった。

歳入の根幹をなす市税は、景気回復基調を受け市民税等の増加を見込み、市税全体で、前年度比7400万円増の93億2200万円とした。また、引き続き、国庫補助等の特定財源の確保や、財政的に有利な合併特例事業債、公共事業等債などの活用を図る。

建設費を計上した平成27年度

### 主要事業について

現在、整備を進めている大松山運動公園拡張整備事業は東京五輪の前年度となる平成31年5月のオープンを目指す。

石橋中学校及び南河内中学校の大規模改修事業等により教育環境の改善を進める。また、主要幹線道路の整備やJR小金井駅東西自由通路修繕事業のほか、自治会等から要望をいただいた生活道路の修繕等にも積極的に取り組む。

さらに、公共施設の有効活用を図るため、旧石橋庁舎の解体工事を行うとともに、旧国分寺庁舎についても平成31年度の解体に向けて実施設計を行う。

子育て支援を充実するため、新たに小児インフルエンザ予防接種や新生児聴覚検査への助成を導入し、認定こども園を整備する民間事業者への支援や国分寺駅西児童館の増築工事を行う。

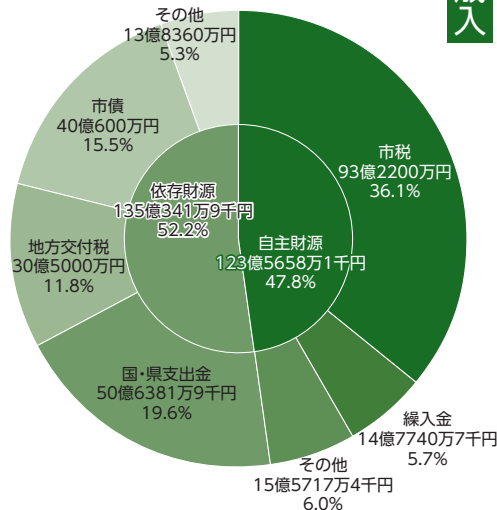
安心して暮らせるまちの実現のため、ふれあい館、ゆうゆう館、南河内公民館の老朽化に伴う施設修繕等を行い、市民活動の環境を整備する。

### 地方創生の取り組み

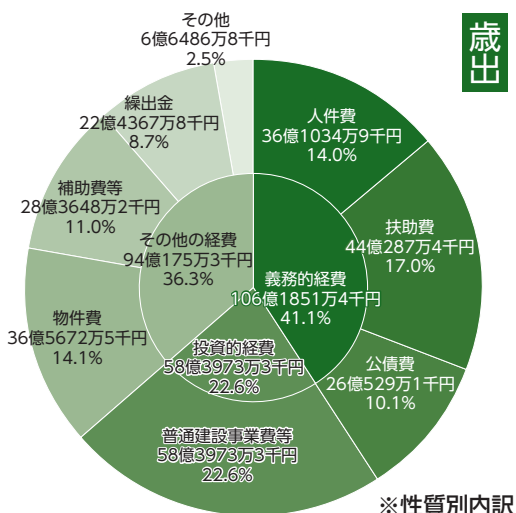
地方創生事業として9事業計5316万9千円を計上した。引き続き、下野市発着の着地型観光ツアーや、文化財を活用した誘客を進める東の飛鳥プロジェクト推進事業を実施する。また、東京圏からの移住・定住促進のため、新たに保留地等購入支援を創設する。

平成30年度一般会計  
総額 258億6千万円

### 歳入



### 歳出



※性別内訳

### 平成30年度各会計予算

(単位：千円、%)

会計	名称	予算額	前年度との比較	
			増減	比率
一般会計		258億6000万0	21億9000万0	9.3
特別会計	国民健康保険	53億6669万7	△13億1296万0	△19.7
	後期高齢者医療	6億5183万7	7534万8	13.1
	介護保険	41億8442万4	△2025万2	△0.5
	公共下水道事業	18億8609万3	8682万5	4.8
	農業集落排水事業	4億1443万5	△142万2	△0.3
	石橋駅周辺土地区画整理事業	928万0	110万0	13.4
	仁良川地区土地区画整理事業	4億4024万1	△2億3567万7	△34.9
企業会計	水道事業	16億1560万9	4986万4	3.2



任期満了に伴い、左表のとおり教育長及び各種委員の任命・選任に同意しました。

議案等番号	付議事件	内容
同意1号	教育委員会教育長の任命	3月24日の任期満了に伴い池澤勤 <sup>いけざつとむ</sup> 氏の再任に同意。
同意2号	教育委員会委員の任命	3月24日の任期満了に伴い永山伸一 <sup>ながやましんいち</sup> 氏の再任に同意。
同意3号	監査委員の選任	前任者の任期満了に伴い3月24日から大久保武 <sup>おおくぼたけし</sup> 氏の委員選任に同意。
同意4号	公平委員会委員の選任	3月31日の任期満了に伴い中島一成 <sup>なかじまかずしげ</sup> 氏の再任に同意。
同意5号	固定資産評価審査委員会委員の選任	3月31日の任期満了に伴い菅井貞雄 <sup>すがいさだお</sup> 氏の再任に同意。
同意6号	固定資産評価審査委員会委員の選任	前任者の任期満了に伴い4月1日から萩原仁 <sup>はぎわらじん</sup> 氏の委員選任に同意。
同意7号	固定資産評価審査委員会委員の選任	前任者の任期満了に伴い4月1日から上野栄一 <sup>うのえいいち</sup> 氏の委員選任に同意。

## 総括質疑

### 防災士資格取得補助金

**問** 30年度予算の防災士資格取得補助金は7万円となっている。取得費用は約6万1千円であるが、この予算で自主防災組織の活性化、防災意識の向上の目的は達成できるのか。

**答** 自主防災組織や自治会からの推薦を必要とするため、推薦状況により、助成費用を増額する。また、今後は上三川町、壬生町と本市の1市2町で防災士研修講座が開催できるかを検討する。

**問** 大松山運動公園拡張整備事業30年度事業費13億3860万円について、国補助金のほか合併特例債と公共事業等債の2種類の市債を借りる理由及びそのメリットは何か。

**答** 膨大な事業費となるので、財政上最も有利な財源の確保を図った。第1に、国庫補助金を最大限に見込んだ。第2に、元利償還金の

22%の交付税措置のある公共事業等債を満額借り入れる。

**問** 第3に、補助対象外となる事業のうち、起債対象となる事業費については合併特例債を借り入れる。その結果、一般財源を事業費の1割程度に抑えられることが最大のメリットである。

**問** ユニバーサル農業支援事業支援事業として施設改修等に対して事業費の2分の1、限度額25万円を補助する。就労希望の障がい者と雇用希望の農業者をつなぐ役割や継続就労のための助言・相談はどことが担当なのか。

**答** 作業を依頼したい農家と就労先を探す福祉施設とのマッチングは農政課で行う。具体的な作業内容や就労時間等については農家と施設間で十分な情報交換を行い、調整した結果を農政課に報告していただく。相談体制については、農政課と社会福祉課が連携して相談窓口となり、情報を共有する。

### 訴えの提起

**問** 今回の職員の公金詐取事件に係る訴えの提起は、勝訴判決を求めていくということでしょうか。

**答** 被害額の回収を第一として、訴訟の過程で被害額を確かめたうえで、弁護士と相談しながら和解も含め進めていく。

### 平成29年度補正予算

■平成29年度各会計補正予算 (単位：千円)

会 計 名	補 正 額	補正後の予算額	
一般会計(第6号、第7号)	7592万5	244億1842万2	
特別会計	国民健康保険	△2億2869万8	64億5394万1
	後期高齢者医療	2352万2	6億0555万7
	介護保険	△2億1992万3	40億8900万6
	公共下水道事業(第2号、第3号)	2億3489万5	21億0795万0

各種事業の額の確定による補正のほか、一般会計では国の補正予算を活用することで市道1-5号線整備事業及び南河内中学校大規模改修事業を前倒し計上しました。

## 第1回定例会 会期日程

- 2月22日 本会議【開会】  
(議案の説明、一部表決)
- 23日 本会議  
(30年度予算案の説明)
- 26日 本会議  
(一般質問)
- 27日 本会議  
(一般質問)
- 28日 本会議  
(議案の質疑、委員付託、追加議案説明・表決)
- 3月1・2日 総務常任委員会  
(付託案件審査)
- 5・6日 教育福祉常任委員会  
(付託案件審査)
- 7・8日 経済建設常任委員会  
(付託案件審査)
- 15日 本会議【閉会】  
(委員長報告、追加議案説明、表決)

※今定例会の傍聴者数 16名(延べ)

## 補正・質疑



### 市民農園条例の一部改正

農地使用料、バーベキュー施設などの使用料は指定管理者の収入とすることができるとのことになりました。

### 都市公園条例の一部改正

施設全体の中の運動施設の面積割合を100分の50とします。利用者が支払う使用料は、指定管理者の収入とすることができるようになりました。

### 国民健康保険条例の一部改正

平成30年度から、国民健康保険財政運営の安定化を図るため、都道府県が国保を運営することになりました。この改正により、栃木県は市町へ保険給付に要する費用を全額交付し、市町は栃木県が決定する国民健康保険事業費納付金を納付します。  
また、市国民健康保険運営協議会の答申を踏まえ、保険

税率及び賦課限度額等の見直しが行われます。これにより、基礎課税額、後期高齢者支援金等課税額及び介護納付金課税額の所得割計は、10・8%から10・4%に、均等割・平等割計は8万円から7万9800円に引き下げられ、賦課限度額は85万円から89万円に引き上げられます。

### 後期高齢者医療に関する条例の一部改正

高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正に伴い、住所地特例の適用を受けて本市の国民健康保険の被保険者とされていた者が、当該特例を引き継いで本市が加入する後期高齢者医療広域連合の被保険者となる場合、引き続き本市が保険料を徴収すべき被保険者となります。

### 学童保育室条例の一部改正

学童保育室の保育時間は、下校時間から午後7時まで、小学校の長期休業日にあつては午前7時30分から午後7時までとします。  
また、保育料を納めること

ができない事情にある者の申請により保育料の減免ができることとし、3人以上の児童が同時に学童保育室を利用する場合は、最年少児童及び次年少児童を除く児童について全額を免除することができるようになりました。

### こども発達支援センター条例の一部改正

発達支援センターこぼと園は、下野市と上三川町との一市一町で運営していましたが、上三川町で新たに独自施設の運営が始まったため、同町を条例より削除しました。

### 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

教育委員長を廃止、教育委員報酬を現行どおり月額3万6千円とします。また、学校評議員を廃止し学校運営協議会委員を新設、報酬は年額1万円。小中一貫教育統括コーディネーターを新設、報酬は月額9千円、地域おこし協力隊員を新設、報酬は月額16万6千円としました。

### 市長等の給与の減額に関する条例の制定

職員による公金詐欺取事件に対し、市経営責任者の管理監督責任として、平成30年3月1日より5月31日の間(3カ月)、給与を減額します。

- ・市長給料月額2/10減
- ・副市長給料月額の1/10減

### 議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

特別職の職員の給与に関する法律の一部改正に準じて期末手当支給率を改正し、29年4月1日に遡って施行します。

市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正  
議員報酬等と同様に、期末手当支給率を改正しました。  
職員報酬等に関する条例及び一般職の任期付職員採用及び給与の特例に関する条例の一部改正  
人事院勧告及び国家公務員の一般職の給与に関する法律等の一部改正に準じて改正しました。

- 給与制度の総合的見直し (平成30年4月1日施行)
- 勤勉手当支給率の改正
- 給与制度の総合的見直し (平成30年4月1日施行)

55歳を超える職員の給料等の1.5%減額措置及び現給保障は廃止する。

### 修正案の内容

職員の公金詐欺取事件に関し、議会としての監視機能を存分に発揮できなかったことに鑑み、自責の念と再発防止の決意を表明するため、施行を議員改選後の5月からとする。

### 修正案の表決結果

賛成少数否決

期末手当支給率施行  
平成29年4月1日

	支給月額		比較
	改正前	改正後	
市長等	3.25	3.30	0.05
議会議員	4.30	4.40	0.10
任期付職員	2.25	2.30	0.05
一般職員			
再任用職員			

※一般職員、再任用職員の引上げ分は、勤勉手当に配分

# 第1回定例会の審議結果

審議結果

議案等番号	付議事件	賛成	反対	結果	主な内容
認定1号	平成29年度栃木県南公設地方卸売市場事務組合一般会計歳入歳出決算認定	17	0	認定	栃木県南公設地方卸売市場について、民営化前に係る事務組合一般会計の決算を認定。
議案1号	平成29年度一般会計補正予算(第6号)	17	0	可決	事務事業確定等による減額など。
議案2号	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	17	0	可決	高額医療費共同事業医療費拠出金・保険財政共同安定化事業拠出金の減額など。
議案3号	平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	17	0	可決	栃木県後期高齢者医療広域連合への納付金の増額など。
議案4号	平成29年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	17	0	可決	介護サービス費の給付実績に伴う保険給付費の減額など。
議案5号	平成29年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	17	0	可決	汚水管渠布設工事の額の確定による減額など。
議案6号	平成29年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	17	0	可決	年度内完了が見込めない物件移転補償費を次年度に繰り越し。
議案7号	平成30年度一般会計予算	17	0	可決	29年度当初と比較して9.3%増の258億6千万円。
議案8号	平成30年度国民健康保険特別会計予算	17	0	可決	29年度当初と比較して19.7%減の53億6669万7千円。
議案9号	平成30年度後期高齢者医療特別会計予算	17	0	可決	29年度当初と比較して13.1%増の6億5183万7千円。
議案10号	平成30年度介護保険特別会計予算	17	0	可決	29年度当初と比較して0.5%減の4億8442万4千円。
議案11号	平成30年度公共下水道事業特別会計予算	17	0	可決	29年度当初と比較して4.8%増の18億8609万3千円。
議案12号	平成30年度農業集落排水事業特別会計予算	17	0	可決	29年度当初と比較して0.3%減の4億1443万5千円。
議案13号	平成30年度小山栃木都市計画事業石橋駅周辺土地区画整理事業特別会計予算	17	0	可決	29年度当初と比較して13.4%増の928万9千円。
議案14号	平成30年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計予算	17	0	可決	29年度当初と比較して34.9%減の4億4024万1千円。
議案15号	平成30年度水道事業会計予算	17	0	可決	29年度当初と比較して3.2%増の16億1560万9千円。
議案16号	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	17	0	可決	指定居宅介護支援等の事業の指定について、事業者の人員配置や介護支援専門員が行うべき事項などを定める。
議案17号	中小企業・小規模企業の振興に関する条例の制定について	17	0	可決	中小企業・小規模企業の振興に関し、基本理念や施策の基本となる事項を定める。
議案18号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	17	0	可決	学校運営協議会委員、小中一貫教育統括コーディネーター、地域学校協働活動推進員、地域おこし協力隊員の報酬を定める。
議案19号	市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について(原案)	14	3	可決	特別職の職員の給与に関する法律の一部改正に伴い、期末手当支給率を6月分で「100分の157.5」に、12月分で「100分の172.5」に改正。
	同(修正案)	3	14	否決	議案19号の修正案は、施行期日を平成29年4月1日から平成30年5月1日に変更する内容であった。
議案20号	市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	17	0	可決	人事院勧告及び一般職の職員の給与に関する法律等の一部改正に伴い、行政職給料表を平均改定率で約0.2%引き上げ。
議案21号	市職員の給与に関する条例及び下野市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	17	0	可決	人事院勧告及び地方公務員の育児休業法等に関する法律の一部改正に伴い、育児短時間勤務に関する事項を規定。
議案22号	市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び下野市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	17	0	可決	55歳を超える職員に対する給与の支給に関する特例措置の廃止に伴い、附則を改正。
議案23号	下野市職員の修学部分休業に関する条例及び下野市職員の高齢者部分休業に関する条例の一部改正について	17	0	可決	国民健康保険法等の一部改正による国保運営の広域化に伴い税率等を改正。
議案24号	国民健康保険税条例の一部改正について	17	0	可決	高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正に伴い、住所特例の適用を見直し。
議案25号	後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	17	0	可決	こぼと園の運営を「上三川町との1市1町」から「下野市のみ」とする。
議案26号	こども発達支援センター条例の一部改正について	17	0	可決	学童保育室を同時に3人以上利用する多子世帯に対し、3人目以降の保育料の減免措置を行う。
議案27号	学童保育室条例の一部改正について	17	0	可決	基準保険料を現行の年額6万2,400円から年額6万6,600円に改定。
議案28号	介護保険条例の一部改正について	16	1	可決	厚生労働省令の改正に伴い、共生型地域密着型サービスに関する規定を追加。
議案29号	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	17	0	可決	改正厚生労働省令の施行に伴い、各条項に介護医療院の記載を追加。
議案30号	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	17	0	可決	改正厚生労働省令の施行に伴い、利用者が介護予防サービス計画の作成に際し複数の事業者を紹介するよう求めることができる条項を追加。
議案31号	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	17	0	可決	農園、研修室等の使用料を利用料金として指定管理者の収入とする。
議案32号	市民農園条例の一部改正について	17	0	可決	用地取得後の経過年数にかかわらず事業所の新設・移設等を行った場合についても奨励金の対象とする。
議案33号	工場誘致条例の一部改正について	17	0	可決	都市公園法施行令の改正に伴い、都市公園における運動施設的面積割合を規定。
議案34号	都市公園条例の一部改正について	17	0	可決	教科用図書選定委員会の委員から教育長を除く。
議案35号	市立小中学校教科用図書選定委員会条例の一部改正について	17	0	可決	下野国分尼寺跡の史跡整備の実施に伴い、保存整備委員会を設置。
議案36号	史跡保存整備委員会条例の一部改正について	17	0	可決	仁良川地区雨水管渠整備工事(18・19路線)の請負契約締結について議決。
議案37号	工事請負契約の締結について	17	0	可決	職員の公金詐取事件に関し、管理監督責任として市長及び副市長の給与を減額。
議案38号	市長等の給与の減額に関する条例の制定について	17	0	可決	公金詐取事件に係る損害賠償請求訴訟を提起することについて議決。
議案39号	訴えの提起について	15	1	可決	市道整備や中学校校舎大規模改修事業に係る経費を追加。
議案40号	平成29年度一般会計補正予算(第7号)	17	0	可決	雨水管渠布設工事費の追加。
議案41号	平成29年度公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	17	0	可決	

## 表決が分かれた議案の議員賛否状況

議案等番号	付議事件	出口芳伸	中村節子	柳田柳太郎	大島昌弘	高橋芳市	石田陽一	小谷野晴夫	須藤勇	秋山幸男	塚原良子	若林稔	野田善一	高山利夫	岩永博美	磯辺香代	松本賢一	岡本鉄男	村尾光子	
議案19号	市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について(原案)	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	●	○	○	○	●
	同(修正案)	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	○	●	●	○
議案28号	介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案39号	訴えの提起について	●	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○

## 議会に報告があったもの(表決はありません)

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 (議長は表決に加わらない)

議案等番号	案件名	内容
報告1号	専決処分の報告について	公用車の事故に係る損害賠償額11万1476円の決定及び和解。
報告2号	専決処分の報告について	消防自動車の事故に係る損害賠償額38万6644円の決定及び和解。
報告3号	専決処分の報告について	公用車の事故に係る損害賠償額25万6333円の決定及び和解。
報告4号	専決処分の報告について	市道での事故に係る損害賠償額3790円の決定及び和解。
報告5号	専決処分の報告について	市道での事故に係る損害賠償額11万2194円の決定及び和解。
報告6号	専決処分の報告について	市道での事故に係る損害賠償額7万1884円の決定及び和解。
報告7号	専決処分の報告について	市道での事故に係る損害賠償額5万4756円の決定及び和解。
報告8号	専決処分の報告について	公用車の事故に係る損害賠償額10万3782円の決定及び和解。

# 常任委員会報告

定例会で委員会付託された議案等について、各常任委員会の審査状況を報告いたします。

## 総務 公債費

(30年度一般会計予算)

**問** 本市市債の保有者と利率の傾向について伺う。

**答** 政府系資金が101億円、足利銀行が54億円、栃木銀行が16億円、足利小山信用金庫が24億円、小山農協が16億円、宇都宮農協が12億円である。現在は低い利率で推移している状況である。

## 総務

### 旧石橋駅周辺公共用地利活用事業・旧庁舎周辺施設整備事業 (30年度一般会計予算)

**問** 両事業の対象範囲は異なるのか。整備に当たり合併特例債は活用するのか。

**答** 石橋駅周辺公共用地利活用事業は石橋庁舎跡地のほか、石橋病院跡地も含む。両跡地の整備に関し基本計画の策定業務を行う。石橋庁舎跡地については、31年度の工事着手を目指し、合併特例債の活用を予定している。石橋病院跡地については、都市再生整備事業の交付金を活用し、32年度以降の設計・工事を考えている。



解体予定の旧石橋庁舎

## 総務

### 戸籍住民基本台帳費

(30年度一般会計予算)

**問** 南河内窓口LAN配線・電話線移設、南河内図書館現況復旧工事請負費について、南河内図書館に指定管理者制度を導入する際には、市民課窓口が入居していても問題ないとのことだった。移設する理由は何か。

**答** 図書館としてフロアを機能的に使いたい。また、現在、市民課窓口は常勤職員1名と臨時職員2名の体制だが、防犯面で問題がある。南河内公民館職員と一体型で事務を行えば効率よく、市民の方も使いやすくなるので、移設する。

## 総務

### 国保運営協議会費

(30年度国民健康保険特別会計予算)

**問** 国保運営が広域化されても、本市の協議会は残しているのか。

**答** 広域化し県に運営協議会が発足したが、保険税率及び保健事業は市が決定するため、協議会は残す。

**問** 県の運営協議会には、本市からも委員が出るのか。

**答** 県内の市町から何人が選出されているが、本市の委員はいない。今後については未定である。

## 経済建設

### 農業振興費

(30年度一般会計予算)

**問** 地域ブランド支援事業について、かんぴょうの生産継続に向けた方策を伺う。

**答** 30年度に生産者連絡協議会を立ち上げたいと考えている。その中で、設備や生産分業化等に関する意見を集約し、今後の予算に反映できるようにしたい。



建設  
経建

道路維持費

(30年度一般会計予算)

街路樹の伐採について、統一した見解、指針のようなものを作成すべきでは。

今後、判断材料を整理し、街路樹伐採の基準策定に向けて進めていく。

答

建設  
経建

空き家バンクシステム

(30年度一般会計予算)

空き家バンクシステム構築委託料27万円の内容は。

市のホームページに地図データがある。そこで空き家情報が見られるようなシステムを構築する。

答

建設  
経建

古民家カフェ「夜明け前」

(30年度一般会計予算)

4月オープンの「夜明け前」の施設使用料(家賃にあたる)は70万円を見込んでいるが、売上げの何パーセントか。

答

運営事業者との話し合いにより、今年度は6%とした。

福祉  
教福

民生費国庫補助金

(29年度一般会計補正予算)

保育所等整備交付金の減額の幅が大きいが、その理由を伺う。

答

薬師寺幼稚園を認定こども園にするための整備を予定していたが、当初の計画よりも遅れたため、29年度に計上していた金額を30年度に予算計上した。

福祉  
教福

高齢者福祉費

(29年度一般会計補正予算)

定期巡回、随時対応型訪問介護看護事業所に係る補助金1500万円の減額理由を伺う。

答

第6期高齢者保健福祉計画に基づき、事業所を整備するため予算化した。新規参入する事業所がなく、県内でも普及していない状況から精査が必要と判断し、事業実施を見送った。

福祉  
教福

児童福祉総務費

(30年度一般会計予算)

問

認定こども園整備事業の内容を伺う。これにより待機児童は解消されるのか。

答

薬師寺幼稚園は増改築、むつみ愛泉こども園、愛泉幼稚園は増築を行う。低年齢児の待機児童が多い傾向にあるので、その枠を拡大するための整備であり、31年度には余裕ができると見込んでいる。

福祉  
教福

児童館費

(30年度一般会計予算)

問

国分寺駅西児童館増築・改修工事について、国分寺小学校の児童を対象とした学童保育の増加に伴い増改築することのだが、50平方メートルの増築では手狭になるのではないか。

答

県土木事務所との協議において、50平方メートル未満に抑えるよう助言があった。今後利用者が増えたときには国分寺小学校の余裕教室等の利用を検討したい。

福祉  
教福

介護サービス等諸費

(30年度介護保険特別会計予算)

問

施設介護サービス給付費及び地域密着型介護サービス給付費について、事業所数・定員・待機者数はそれぞれどのくらいか。

答

施設介護サービス給付費は、特別養護老人ホーム等が該当し、広域型が5施設で254人、地域密着型が3施設で87人となる。地域密着型については、グループホームも該当し、4施設で45人である。待機者数は30数名である。



国分寺駅西児童館

## 現地調査を行いました

常任委員会で議案審査に先立ち事業の現地調査を行いました。

総務常任委員会は、下記調査先のほか、職員による公金詐取事件に関し、総務人事課に赴き、事件の経緯や今後の対策について説明を受けました。

### 教育福祉常任委員会



### 経済建設常任委員会



### 総務常任委員会



# 市政をたたく

## 一般質問

第1回定例会では、8人の議員が市政に対し、一般質問を行いました。質問と答弁の内容を要約して掲載します。



### 秋山幸男議員



#### 問 市長の四選出馬について

#### 答 新たな下野市政発展のため頑張りたい

**問** 市長は将来の維持管理コスト低減を

体でサッカー会場として決定する等、在任期間中多くの事業に着手し成果を収めているが、完了、目標に達しない事業も残っている。

目指し、橋梁長寿命化事業に着手、また、24年度から29年度の6年間で23億8593万円を繰上償還し、7176万円の利子の削減に努められた。

市民が幸せを実感できるまちづくり実現のため、出馬の考えはあるのか。

#### 答

市長 3期12年間、市民の視点を大切にしながら、下野市の豊

か多様な地域資源を活用し、住みよさ県内ナンバーワンを目指して取り組んでまいりました。地域活性化には、地域資源を最大限活用し、女性の活躍の推進や年齢を問わない人材の活用、バリアフリー社会の実現等やるべきことは多岐にわたっているが、地方創生をなす遂げるためにはいまだ道半ばの感がある。下野市に住み幸せを実感できる施策を展開し、将来の姿を思い描きながら、その思いの中で出馬し頑張りたい。

ほかにも...

**問** 職員の公金詐取による被害総額は、総額3994万円と推計している。



四選出馬を表明した広瀬市長

塚原良子議員

問 大型ごみ運び出し困難世帯への支援を

答 無料収集を維持しつつ有料での戸別収集を検討



問 高齢者にとって、大型ごみを指定された日・時刻に収集所に運ぶことは、健康状態や天候によって困難をきたす。加えて、最近の高齢者による車の事故増加により、早期に免許返納をする高齢者もふえ、収集所に車で持ち込むことが

できない世帯も多くなるのでは。市民からは、有料でも良いので玄関先で戸別収集してほしい、との要望がある。行政主体によるシステムの構築を求める。

答 市長 収集所までしが困難な高齢者や障がいを持つ人に対して、ゴミ出しに伴う負担軽減を

図る支援は必要であると考えられる。粗大ごみ収集における無料収集は維持しつつ、高齢化社会に対応した廃棄物行政の重要性に鑑み、希望者には有料での玄関先まで何う戸別  
収集について検討している。収集料金や、受け取り体制などについては小山市などを参考にしている。  
ほかに...  
問 公金詐欺事件を踏まえ、今後の対応について。  
答 有識者で構成する第三者委員会を設け、市役所全体のコンプライアンス確立を図る。



ごみステーションに出された大型ごみ

岡本鉄男議員

問 県道鹿沼下野線の全線開通の見通しは

答 第一工区・第二工区に区分して施工する



問 県道鹿沼下野線は、石橋の文教通りから関根井地区まで開通しているが、旧国分寺庁舎までの全線開通はいつ頃になるのか。旧国分寺庁舎を取り壊す時期や国分寺公民館を残すための整備はどうするか。地権者の同意は得たのか、完了

答 市長 県道鹿沼下野線は、渋滞が慢性化している国道4号線の補完的幹線道路としての位置付け、新設道路の整備を合併当初から県に要望してきた。現在、残り2・1キロメートルの区

間を小金井工区として、再整備を行う予定である。県が整備を進めている。また、平成31年7月を目前に旧国分寺庁舎の取り壊し工事に着手し、国分寺公民館も老朽化した屋根・外壁・空調設備・音響設備の改修や駐車場の小山市と協議を進める。  
ほかに...  
問 市道1-9、1-3号線の南への延伸整備は。  
答 市道1-12号線までの約2.3キロメートル、県道栃木二宮線約2.1キロメートルを計画。



平成31年度に解体予定の旧国分寺庁舎



結婚記念証(上)と出生記念証(下)



## 小谷野晴夫議員



## 結婚新生活支援事業費補助金の活用を

### 答 国の動向を踏まえ活用を図っていく

### 問

下野新聞では、「未婚予想図、2035年半数ソロ社会」というシリーズ記事がある。記事を読んで若い人たちの結婚に対するさまざまな混乱があることを感じた。と同時に、強い危機感を感じている。国では、国立社会保障・人口問題

研究所による調査を踏まえ、平成28年度補正予算に10億3千万円の結婚新生活支援に関する補助金を盛り込んだ。また、29年度にも6億1千万円を予算化している。結婚の意思はあるのに経済的な理由で結婚に踏み出せない若者がふえてしまえば、出生率の低下、さらなる少子化の進行、人口減少

### 答

市長 若い世代への結婚から妊娠・出産・育児まで、切れ目のない支援のため、この

ほかにも、空家対策と若い世代の定住促進のために、リフォーム費用の補助金の設立を。若い世代の移住・定住推進ができるものと考え、補助事業の創設に向けて検討したい。

## 中村節子議員



## 問 不登校児童・生徒への対応を伺う

### 答 児童・生徒一人一人に寄り添い対応していく

### 問

2017年2月に「教育機会確保法」が施行された。この法律は、不登校児童・生徒を対象とした法律で、「不登校はどの児童・生徒にも起こりえる」「学校を休む権利がある」「学校以外で学ぶことも重要である」などが、特徴とな

### 答

教育長 小学生は2名、中学生は19名である。

### 問

適応指導教室(スマイル教室)には、何人が通っているか。

### 答

教育長 20名の中学生が在籍している。

### 答

教育長 担任が家庭訪問をして授業

### 問

適応指導教室にも通えない児童・生徒への対応は。

教育長 担任が家庭訪問をして授業

### 問

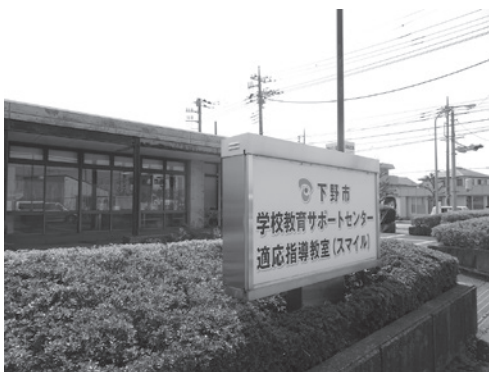
スクールソーシャルワーカー(SSW)を市町独自で採用しているところもある。下野市にはいないが、県に派遣の要請をすることが

### 答

教育長 今のところしていない。今後はSSWの活用を図っていく。

### 問

教育長 今のところしていない。今後はSSWの活用を図っていく。



スマイル教室

※スクールソーシャルワーカー  
児童生徒を取り巻く環境に注目し、家庭訪問や関係する機関をつないだりして、問題の解決を図る福祉の専門家。

### 磯辺香代議員



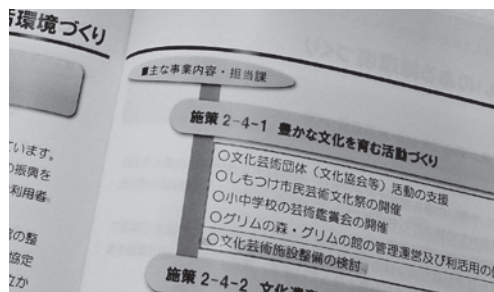
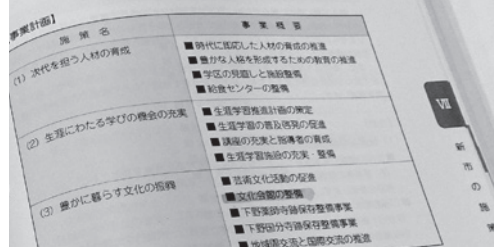
### 「文化芸術施設整備の検討」内容は何か

**答** 都市計画上の課題解決に取り組んでいる

**問** 市長 優れた文化芸術を鑑賞すること、年間維持費が1億2億円と予測される。また、2ヘクタール程度の建設用地を、市街化区域内に確保することは事実上不可能。市街化調整区域は都市開発が制限され建設は極めて困難だ。課題解決を目指し、駅周辺2億円と予測される。また、国交省の同意を得るために、現在「都市再構築プラン」を策定している。財源や施設規模なども継続的に検討して参りたい。

### 合併後15年間を実施期間とする新市建設計画には「文化会館の整備」が明記されている。しかし、総合計画では「検討」と表現されてきた。実現を期待している市民に対し、何を検討しているのか明確にされたい。

**答** 市長 優れた文化芸術を鑑賞すること、年間維持費が1億2億円と予測される。また、2ヘクタール程度の建設用地を、市街化区域内に確保することは事実上不可能。市街化調整区域は都市開発が制限され建設は極めて困難だ。課題解決を目指し、駅周辺2億円と予測される。また、国交省の同意を得るために、現在「都市再構築プラン」を策定している。財源や施設規模なども継続的に検討して参りたい。



新市建設計画(上)と第二次総合計画(下)

### 大島昌弘議員



### 県道下野二宮線の整備について

**問** 早期着工を希望している。この道路は、一日当たり通行台数が1万台を超え、幼稚園、保育園、中学校、高校への通学路として、また、自治医科大学附属病院、とちぎ子ども医療センター、道の駅しもつけ、三王山公園、ふれあい館への道路として重要な役割を担っている。そのため、この道路の安全

**答** 市長 市は、合併当初から県土整備委員会現地調査をはじめ、早期整備を要望している。県は今後、用地測量に着手し、用地買収済み一部の区間の工事を予定している。

### 平成に入り、県道下野二宮線の道路整備計画が県から提示された。本年1月に地権者に対する説明会が行われ、県の考え方として道路整備の完了に10年程度かかるという説明があった。説明会に出席した地権者は全員が賛成しており、

**問** 早期着工を希望している。この道路は、一日当たり通行台数が1万台を超え、幼稚園、保育園、中学校、高校への通学路として、また、自治医科大学附属病院、とちぎ子ども医療センター、道の駅しもつけ、三王山公園、ふれあい館への道路として重要な役割を担っている。そのため、この道路の安全

### ほかに...

**問** ホテル誘致について伺う。  
**答** 誘致に向けた支援制度について前向きに検討を進めている。



県道下野二宮線

# 議会の動き

## 2月

- 2日 総務常任委員会
- 5日 議員全員協議会・議会運営委員会
- 7日 教育福祉常任委員会・  
全国市議会議長会基地協議会第81回総会
- 8日 経済建設常任委員会
- 15日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 16日 議会だより編集委員会
- 22日～3月15日 第1回定例会
- 22日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 23日 議会運営委員会・議員全員協議会

## 3月

- 13日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 15日 議会だより編集委員会
- 16日 石橋地区消防組合議会定例会
- 20日 小山広域保健衛生組合議会定例会
- 28日 議会だより編集委員会

## 4月

- 17日 栃木県市議会議長会議
- 24日 議会だより編集委員会・  
関東市議会議長会定期総会

## 新議員18名が決まる

4月22日執行の下野市議会議員選挙の結果、次の18名が市議会議員に当選しました。

### ■下野市議会議員選挙当選者 (敬称略、50音順)

氏名	年齢	党派	当選回数	職業
あいざわ やすお 相澤 康男	65	無所属	1	農業
あきやま ゆきお 秋山 幸男	69	無所属	4	農業
いしかわ のぶお 石川 信夫	61	幸福実現党	1	自営業
いしだ よういち 石田 陽一	67	無所属	4	会社役員
いそべ かよ 磯辺 香代	63	無所属	4	無職
いとう よういち 伊藤 陽一	52	無所属	1	自営業
おおしま まさひろ 大島 昌弘	59	無所属	3	農業
おかもと てつお 岡本 鉄男	74	無所属	4	会社役員
おくだ つとむ 奥田 勉	71	無所属	1	会社役員
かいき ゆきお 貝木 幸男	59	無所属	1	自営業
ごのへ とよひろ 五戸 豊弘	57	日本共産党	1	政党役員
こやの はるお 小谷野 晴夫	60	公明党	4	会社役員
さかむら てつや 坂村 哲也	38	無所属	1	私立学校職員
たかはし よしいち 高橋 芳市	73	無所属	3	会社役員
たかやま かずのり 高山 和典	52	無所属	1	会社代表
なかむら せつこ 中村 節子	53	無所属	2	無職
まつもと けんいち 松本 賢一	71	無所属	4	会社役員
むらお みつこ 村尾 光子	69	無所属	4	無職

※任期は30年5月1日～34年4月30日  
 ※年齢は5月1日現在  
 ※当選回数は在任特例期間を含まない



造血細胞移植後の予防接種の再接種を推奨している日本造血細胞移植学会のガイドライン

## 村尾光子議員



**問** 骨髄や臍帯血などの造血細胞移植を受けた子ども達が、医師の診断の下に改めて予防接種を受ける際には全額自費となり、経済的負担が大きい。助成制度の創設を求める。

**答** 市長 骨髄移植や抗がん剤治療を受

## 子どもの造血細胞移植後の再予防接種に助成を

**問** 先進例を参考に、医師会等と調整し制度を創設

けたことにより、それまでに定期接種で獲得した免疫がなくなり、予防効果が期待できなくなった場合の再接種については任意接種扱いとなり、全額自己負担となる。その費用は、必要な全てを受けると最大で25万円程度になり、相当な経済的負担になっていると聞く。予防接種の再接種が経済

的理由で受けられない場合には、疾病の重症化や地域の感染症蔓延という事態も考えられる。こうした事態を防ぐためにも、再接種とその費用助成金制度は必要と考える。実

ほかに・・・  
**問** 下野ブランドクラフトビールの醸造・商品化を。  
**答** 醸造所の意向を確認し、実現性を協議する。  
**問** 乾式オフィス製紙機を導入したい。  
**答** 他市等での稼働実績を踏まえ、研究する。

自治体は少ないが先進例を参考に、助成対象者予防接種の種類、助成金額等を検討する。  
 健康福祉部長 医師会等との調整が整うであろう  
 6月頃までには実施する。



# 天平の丘公園に古民家カフェがオープン

下野市議会だより

No. 48

平成30年5月15日発行

年4回発行



## 天平の丘公園に『10 picnic tables(テンピクニックテーブルス)』オープン！

平成7年に当地へ移設され、多くの方に利用されてきた民俗資料館「夜明け前」。下野国分寺・国分尼寺跡等が集積する史跡公園という雰囲気を活かした「古民家カフェ」と「多目的スペース」として生まれ変わりました。

## 平成30年 第2回定例会 6月7日(木) 議場にて開会予定

詳しい日程は決定次第、市ホームページ

下野市 市議会

検索

でお知らせいたします。



次号(No.49)は8月15日に発行します

下野市社会福祉協議会ボランティアセンターにおいて下野市議会だよりの音訳CDを貸し出しています。連絡先：(43) 1236

下野市議会だより1部あたりの印刷製本費は約12.4円です。

- 議会だより編集委員会
- 村尾 光子 中村 節子
  - 出口 芳伸 柳田 柳太郎
  - 高橋 芳市 若林 稔

2014年に議員になり、早4年がたちました。この4年間、議会だよりに編集員としてたずさわらせていただきました。議会後に原稿を書き、他の方の原稿を何度も読み返し、大いに勉強させていただきました。

2014年に視察で行った宮城県利府町の議会だよりは大変印象深いものがありました。この町の議会だよりは何度も広報コンクールで受賞しています。「議員自ら、ほとんどの原稿を書く」というその姿勢に私たちも習おうと思いました。以来、議会事務局になるべく頼らず(と言っても頼っています)が、積極的に原稿づくりに励みました。「分かりやすい文章で」ということにも努めました。少しずつ、努力が実を結んできたのではと思っています。この流れが止まらないようにと願います。

(中村節子)

編集後記

今号の題字：石橋小学校 6年 鹿戸優那さん(平成30年3月現在)

〒329-0492 栃木県下野市笹原26番地  
電話0285(32)8914 / FAX0285(32)8614